

＝ 会 告 ＝

講演会・見学会等の開催予定

2020年3月11日現在

開催予定月日	講演申込締切	前刷原稿提出締切	催しもの	開催地	共催学協会名	企画部門	備考
2020年4月10日(金)			関西支部第66回総会・特別講演	大阪市		関西支部	68巻3月会告3頁参照
2020年4月16日(木)～17日(金)	2019年12月27日(金)	2020年2月14日(金)	第51期定時社員総会及び年会講演会	東京都		第51期理事会	67巻12月会告2頁参照
2020年7月1日(水)～3日(金)	2020年3月13日(金)	2020年5月12日(火) 23:59	第52回流体力学講演会/第38回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム	岩手県	宇宙航空研究開発機構	空気力学部門	68巻2月会告5頁参照
2020年8月5日(水)～7日(金)	2020年3月19日(木)	2020年6月5日(金)	第62回構造強度に関する講演会	佐賀県	日本機械学会、宇宙航空研究開発機構	構造部門委員会	68巻2月会告6頁参照
2020年9月14日(月)～18日(金)	2019年7月31日(水)	2020年6月1日(月)	第32回国際航空科学会議上海大会(ICAS2020)	中国(上海)			67巻5月会告4頁参照

会員数 (2020年2月現在)

資格	正会員	学生会員	名誉会員	賛助会員(個人)	賛助会員(団体)
2月会員数	3295	1175	49	0	57
1月会員数	3295	1173	49	0	57
差引増減	0	2	0	0	0

新入会員名簿正会員 (敬称略)

西園寺且裕 (アイシン精機(株)), 山田豊一 (新明和工業(株)), 板倉健郎 (住友精密工業(株)), 満田宇宙 (三菱電機(株)), 世古口直也 (川崎重工業(株)), 中村研悟 (宇宙航空研究開発機構)

新入会員名簿学生会員 (敬称略)

畑中篤之 (九州大学 院), 村上資直 (東京理科大学), 山村周平 (東京大学), 万浪義史 (東京大学 院), 松本悠希 (日本大学 院), 石川裕真 (名城大学), 河津誠人 (九州大学 院), 平田 大 (東京大学 院)

新型コロナウイルス感染拡大に対する本会の対応について

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されております。

終息の見込みがたたないことから、状況によっては講演会を中止させていただく場合がありますので、ご来場前に、必ずホームページ等で開催の有無をご確認下さい。

<https://www.jsass.or.jp/> <日本航空宇宙学会 事務局 Tel : 03-6262-5313>

本会主催で中止が決まっている講演会は下記の通り。 2020年3月11日現在

ご来場を楽しみにしていた皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

開催日	催しもの	開催地	企画部門	備考
2020年3月13日(金)	第48期西部支部総会及び特別講演会	福岡市	西部支部	68巻3号会告3頁参照
2020年3月18日(水)～19日(木)	北部支部2020年講演会ならびに第1回再使用型宇宙輸送系シンポジウム	室蘭市	北部支部	67巻10号会告6頁参照
2020年3月26日(木)	第63期中部支部大会・特別講演会	名古屋市	中部支部	68巻3号会告3頁参照

令和2年4月

日本航空宇宙学会会員の皆様へ

論文集編集委員会委員長 寺本 進

航空宇宙技術の業者組版移行ならびに掲載料の改定について

これまで航空宇宙技術は、著者御自身での掲載用指定様式による原稿組版をお願いしていましたが、日本航空宇宙学会論文集のオンライン移行を機に、著者の負担軽減とジャーナルとしての体裁の統一を目指して印刷業者による組版に移行することとなりました。

同時に、原稿種別や掲載料もオンライン化後の日本航空宇宙学会論文集に合わせて下記のとおり変更致します。

- ・「論文」「研究開発報告」の最大頁数を10頁から15頁に拡大する
- ・「研究ノート」を「技術ノート」に改め、最大頁数を4頁とする
- ・掲載料を1頁10,000円（消費税込み）（筆頭著者が非会員の場合、12,000円+1頁10,000円（消費税込み））に変更。

新しい原稿種別および掲載料金は2020年（令和2年）6月6日以降投稿にいただく論文から適用し、既にご投稿頂いた論文の掲載料については、掲載時に著者組版（従来の掲載料）と業者組版（新掲載料）からお選び頂くことができます。従来の掲載料と比較すると組版費用の分が加算された形となりますが、ご理解下さい。

今後とも、当学会の論文集へのご投稿をお願い申し上げます。

第19回 令和元年度 日本航空宇宙学会学生賞 受賞者一覧

2020. 2. 14

	受賞候補者名	大学／高専名	学部学科名
1	羽地 啓悟	東北大学	工学部 機械知能・航空工学科 航空宇宙コース
2	佐竹 秀元	室蘭工業大学	機械航空創造系学科 航空宇宙システム工学コース
3	清原 雄大	帝京大学	理工学部 航空宇宙工学科
4	藤井 瞳	日本大学	理工学部 航空宇宙工学科
5	長谷部早紀	東京大学	工学部 航空宇宙工学科
6	中村 圭吾	東京工業大学	工学部 機械系
7	早友 龍聖	首都大学東京	システムデザイン学部 航空宇宙システム工学コース
8	木村 巴香	横浜国立大学	理工学部 建築都市・環境系学科 海洋空間のシステムデザインEP
9	黒木 攻樹	防衛大学校	システム工学群 航空宇宙工学科
10	大西 惟仁	東海大学	工学部 航空宇宙学科 航空宇宙学専攻
11	森永 裕大	早稲田大学	基幹理工学部 機械科学・航空学科
12	清水 健司	神奈川工科大学	工学部 機械工学科 航空宇宙学専攻
13	野呂 拓臣	名古屋大学	工学部 機械・航空工学科 (航空宇宙工学コース)
14	梅田 佳奈	金沢工業大学	工学部 航空システム工学科
15	菊川 力矢	静岡大学	工学部 機械工学科
16	石川 裕真	名城大学	理工学部 交通機械工学科
17	津坂 裕己	京都大学	工学部 物理工学科 (宇宙基礎工学コース)
18	阿戸 大志	大阪府立大学	工学域 機械系学類 航空宇宙工学課程
19	福嶋 祐貴	鳥取大学	工学部 機械物理系学科
20	中西 由一	九州大学	工学部 機械航空工学科 (航空宇宙工学コース)
21	青景 壮真	高知工科大学	システム工学群 航空宇宙工学専攻
22	山本 墨	日本文理大学	工学部 航空宇宙工学科
23	百武 勇貴	崇城大学	工学部 宇宙航空システム工学科
24	喜友名 尋睦	第一工業大学	工学部 航空工学科
25	野木 侃	九州工業大学	工学部 機械知能工学科 (宇宙工学コース)
26	中島 敏耀	東京都立産業技術高等 専門学校	ものづくり工学科 航空宇宙工学コース

【有料会告】

豊田工業大学工学部 熱エネルギー工学分野教育職員公募

募集人員： 准教授 1 名 (Tenured あるいは Tenure Track とする)

専門分野： 伝熱, 反応性熱流体に関する分野. 例えば相変化, コンパクト熱輸送, 燃焼工学, 持続・循環型エネルギーシステム, 新型燃料電池, 生体系の伝熱および物質移動, 極低温に関する研究.

応募資格： 博士の学位を有し, 上記分野での実験主体の研究を推進でき, 機械工学を基礎とした熱流体や伝熱の表現および現象論的アプローチができる方. さらに, 上記分野を化学反応論や分子運動論と融合するなど, ミクロ, ナノ, 分子レベルの視点での計測, 解析, 新展開が可能な方. 教育面においては, 学部・大学院での研究指導, 数学, 物理学等の基礎科目および熱工学 (伝熱学, 熱力学, 熱エネルギー, 物質移動など) に関する学部・大学院での授業と学生実験の指導・教育が担当できる方.

着任時期： 2021 年 4 月 1 日

問合せ先： 熱エネルギー工学および関連分野教育職員選考委員会委員長 下田昌利
Tel: 052-809-1782 e-mail: shimoda@toyota-ti.ac.jp

応募締切： 2020 年 6 月 30 日 (火) (必着)

提出書類, 書類送付先については次の本学ホームページを参照してください.
<https://www.toyota-ti.ac.jp/recruit/faculty/faculty.html>

予告



第 33 回宇宙技術および科学の 国際シンポジウム, 大分県別府大会 33rd ISTS

主 催 : 第 33 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム組織委員会・一般社団法人日本航空宇宙学会
特別協力 : 大分県、別府市

開催日 : 2021 年 6 月 5 日 (土) ~ 6 月 11 日 (金)

会場 (大分県別府市) : 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ
http://www.b-conplaza.jp/international_conference_room/index.htm

アブストラクト 投稿受付開始 : 2020 年 8 月上旬
アブストラクト 投稿締切 : 2020 年 10 月中旬

詳細は ISTS ホームページ : <https://www.ists.or.jp> にて 4 月上旬、公開予定。

第 33 回 ISTS 組織委員会事務局
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-1-21 近三ビル 4 階
(一社) 日本航空宇宙学会 (内)
TEL : 03-6262-5313 E-mail : secretariat@ists.or.jp

【有料会告】

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 特任助教 公募

1. 公募職種及び人数：テニュアトラック特任助教（教育職任期制職員）1名
2. 配属部署：宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系
3. 求める人物像：将来の革新的な宇宙機システム及び宇宙輸送システムに寄与する熱制御工学の基礎的研究について、自由な発想に基づいて推進することを求める。それに加え、特に S-JASMINE および LiteBIRD で代表される今後の天文衛星等で重要となる低温・極低温構造が必要な衛星システムに関し、衛星熱制御工学の立場からプロジェクトチームに貢献することを求める。
4. 任期 最大5年。任期中に最大2回のテニュア付与審査を受けることができ、合格すれば、任期なし准教授として採用される。
5. 着任時期：決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合がある。
6. 応募締め切り：2020年5月15日(金)9時30分(日本時間) 必着
7. 問い合わせ先：宇宙飛行工学研究系・研究主幹 佐藤英一 sato@isas.jaxa.jp
科学推進部人事担当 電話: 050-3362-2695 E-mail: isas-jinj@ml.jaxa.jp
8. その他：応募者が条件を満たす場合には、並行して公募される文部科学省卓越研究員制度にも応募することを求める。https://www.jsps.go.jp/j-le/koubo_kenkyu.html
9. 詳細：ホームページ http://www.jaxa.jp/about/employ/educator_j.html を参照のこと。

【有料会告】

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
教授 公募

1. 募集人員 教授（教育職） 1名
2. 配属予定部署 宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系
3. 職務内容 宇宙用センサ・マイクロデバイス分野に関する基礎的な研究を自由な発想に基づいて実施する。JAXA の将来の深宇宙探査機(超小型探査機も含む)で必要とされる高性能小型軽量の航法誘導センサ開発に新しい手法や技術を導入し、自ら設計・試作を行うことにより牽引する。JAXA の深宇宙探査プロジェクトに対してセンサ・マイクロデバイス分野の立場から積極的に貢献する。JAXA が持つ大学共同利用の役割を理解し、宇宙用センサ・マイクロデバイス分野において大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに、大学院学生の教育・指導を実施する。また、関連企業などと連携し産学共同研究も推進する。
4. 着任時期 決定後できるだけ早い時期
5. 任期 なし。定年63歳。
6. 応募資格 博士号を有する。
7. 応募締切 2020年6月1日(月)9時30分(日本時間) 必着
8. 詳細情報 以下のWebサイトを参照して下さい。
(公募文) <http://www.isas.jaxa.jp/researchers/job/>
(研究系紹介) <http://www.isas.jaxa.jp/about/organization/spacecraft.html>

【有料会告】

公立諏訪東京理科大学工学部機械電気工学科 教員公募実施要領

- 〔公募人員〕 助教1名
- 〔勤務形態・任期〕 常勤、上限5年
※適任であると判断した場合には、任期中に任期なしの常勤雇用（昇任を含む）に転換することがある。
- 〔所属〕 公立諏訪東京理科大学工学部機械電気工学科
（所在地：長野県茅野市豊平5000-1）
- 〔専門分野〕 機械工学を基盤とする以下のいずれかの研究分野
(1) ロボット・制御・知能化, (2) 流体・航空宇宙
- 〔担当予定科目〕 機械製図, 3D CAD, 機械工学実験, プログラミングなどの実験・実習系科目
- 〔給与・待遇〕 本学の規定による。
- 〔着任日〕 令和2年10月1日、または令和3年4月1日
- 〔応募資格〕 博士または Ph.D.の学位を有する方。
学部教育並びに研究及び学科運営に熱意を持って取り組み、地域貢献に寄与する研究教育や活動にも積極的に取り組んでもらえる方。
選考においては企業における技術的な実務経験も積極的に評価します。
- 〔提出書類〕 (1) 履歴書
(2) 教育・研究等業績書（業績リスト）
(3) 主要論文別刷（3編程度（コピーも可））
(4) 研究概要（約1000字）
(5) 研究計画（約1000字）
(6) 教育および地域への貢献に対する抱負（約1000字）
(7) 学位記の写し
(8) 業績などに関して照会できる方2名の推薦文（A4で一枚程度）
- 〔応募締切〕 令和2年6月30日 必着
- 〔選考方法〕 (1) 書類審査
(2) 書類審査通過者に面接を行います。面接日時については個別にお知らせしますが、交通費は応募者の負担となります。
- 〔書類提出先・問合せ先〕
書類送付先：〒391-0292 長野県茅野市豊平5000-1
公立諏訪東京理科大学工学部機械電気工学科先進機械コース主任 星野 祐
問合せ先：hoshino@rs.sus.ac.jp
※提出書類は封筒に「工学部機械電気工学科助教応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送して下さい。応募書類は返却しません。

本会共催・協賛・後援行事

第9回ロボット大賞

主催：経済産業省，日本機械工業連合会他
募集：

(1)期間：令和2年4月7日～6月5日(予定)

(2)部門：ビジネス・社会実装部門，ロボット応用システム部門，ロボット部門，要素技術部門，研究開発部門，人材育成部門

(3)分野：ものづくり分野，サービス分野，高度ICT基盤技術分野，介護・医療・健康分野，インフラ・災害対応・建設/消防防災分野，農林水産業・食品産業分野

表彰位：経済産業大臣賞，総務大臣賞，文部科学大臣賞，厚生労働大臣賞，農林水産大臣賞，国土交通大臣賞，中小企業庁長官賞，日本機械工業連合会会長賞 他。

表彰式：令和2年10月8日

問合せ先：ロボット大賞事務局

日刊工業新聞社 総合事業局 イベント事業部 蓮見・山本

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

TEL:03-5644-7221

FAX:03-5641-8321

<https://www.robotaward.jp/index.html>

軽金属学会第138回春期大会

主催：軽金属学会

会期：2020年5月22日(金)～24日(日)

会場：22日(金)かがわ国際会議場
23日(土)，24日(日)香川大学幸町キャンパス

参加費：正会員 予約6,000円

当日7,000円

学生会員 予約3,000円

当日4,000円

非会員 予約10,000円

当日10,000円

JpGU-AGU Joint Meeting 2020

主催：日本地球惑星科学連合・米国地球物理学連合

開催日程：2020年5月24日(日)～28日(木)

開催会場：幕張メッセ 国際会議場，国際展示場

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

東京ベイ幕張ホール

〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2-3

連絡先：日本地球惑星科学連合 事務局

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4階

TEL.03-6914-2080

FAX.03-6914-2088

Email:office@jogu.org

本大会に関するホームページ

<http://www.jogu.org/meeting-j2020>

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2020

主催：日本機械学会

会期：2020年5月27日(水)～30日(土)

会場：石川県産業展示館他(石川県金沢市袋島町南193)

大会Webページ：<http://robomech.org/2020/>

第5回マルチスケール材料力学 シンポジウム

主催：日本材料学会

期日：2020年5月29日(金)

会場：電気通信大学(東京都調布市調布ヶ丘1-5-1)

参加登録料(講演論文集含まず)：

日本材料学会会員 1,500円，

学生会員 500円

非会員 3,000円，

学生非会員 1,000円

講演論文集：会員(協賛学協会含む) 3,000円

非会員 4,000円

Webサイト：http://jsms.jp/index_4.html

SSII2020

(第26回画像センシングシンポジウム)

主催：画像センシング技術研究会

日時：2020年6月10日(水)～12日(金)

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール

参加費：一般25,000円(30,000円)/学生10,000円(13,000円)

*5月15日までにWeb事前登録の金額。5月16日以降はカッコ内の金額。

グループ登録50,000円(一般のみ，3名分)

第58回日本接着学会年次大会

主催：日本接着学会

第50回信頼性・保水性・安全性 シンポジウム

主催：日本科学技術連盟

第25回計算工学講演会

主催：日本計算工学会

第50回信頼性・保水性・ 安全性シンポジウム

主催：日本科学技術連盟

会期：2020年6月18日(木)，19日(金)

会場：日本教育会館(東京・千代田区一ツ橋)

Webサイト：<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/50rms>

問い合わせ先：一般財団法人日本科学技術連盟 50RM & S担当

TEL:03-5378-9850

FAX:03-5378-9842

E-Mail:re-group@juse.or.jp

第25回計算工学講演会

主催：日本計算工学会

会期：2020年6月10日(水)～12日(金)

会場：北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉)

Webサイト：<https://www.jsces.org/koenkai/25/>

問合せ先：日本計算工学会

TEL 03-3868-8957，

FAX 03-3868-8957

E-mail:office@jsces.org

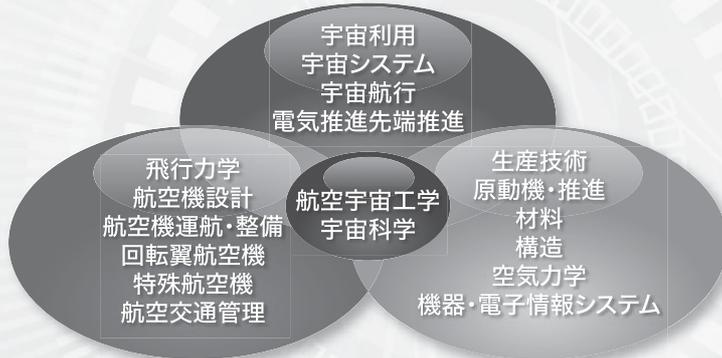


宇宙ってどうなっているの?... 飛行機ってどうして飛べるの?...
子供の頃に抱いたあのワクワクを覚えていますか?

当会は、工学、物理学、科学、さらに生物学、医学など、異なる分野の会員が、
基礎から応用まで航空宇宙分野に関わる多彩なテーマで活動をしています。

科学技術の先導分野として、航空宇宙工学の一層の進展が期待されています。わが国の航空
宇宙業界も、戦後70数年を経て、ようやく追従から抜けて独自の道を歩み出したところで。

このときにあたり、当学会は学会活動を通じて積極的に国際交流や国内の他学会との協力を
進め、また学会誌の充実を図っています。



部門委員会

航空宇宙工学という広い分野で、最先端の情報をキャッチするのは難しいことです。しかし当学会には16の
専門別に権威ある部門委員会があり、講演会や学会誌のために重要な題目の選別をしています。

- ・ 空気力学部門委員会
- ・ 構造部門委員会
- ・ 材料部門委員会
- ・ 機器・電子情報システム部門委員会
- ・ 飛行力学部門委員会
- ・ 生産技術部門委員会
- ・ 原動機・推進部門委員会
- ・ 航空機設計部門委員会
- ・ 特殊航空機部門委員会
- ・ 回転翼航空機部門委員会
- ・ 航空機運航・整備部門委員会
- ・ 航空交通管理部門委員会
- ・ 宇宙航行部門委員会
- ・ 宇宙システム・技術部門委員会
- ・ 宇宙利用部門委員会
- ・ 電気推進先端推進部門委員会

活動

学術講演会・一般向け講演会から地域と教育のためのイベントや国際交流まで、活動内容も多彩です。

- ・ 学術講演会 …… 多くの学術講演会を主催し、毎年多くの研究開発報告が行われています。優れた発表・論文には表彰もあります。
- ・ 一般講演会・教育イベント …… 航空宇宙を専門としない一般向けの講演会や、教育のためのイベントを実施しています。
- ・ 情報発信 …… 毎月発行の学会誌をはじめ、WEBやにより航空宇宙に関する最新の情報を発信しています。
- ・ 地域ごとの活動 …… 北部・中部・関西・西部の各支部が設けられ、講演会・見学会をはじめ、地域に根ざした活動を行っています。
- ・ 研究会等の共催・協賛 …… 学会内の活動に止まらず、他学会・協会との共催、協賛を積極的に行い、活動の幅を広げています。
- ・ 国際交流 …… 様々な国際会議を主催しています。また、米国航空宇宙学会など国内外の関連団体と相互協力を行っています。

会員

会員数は、約4,000名で、日本国内に止まらず、海外の会員も約40名に達しています。また賛助会員も約60
社となっています。航空宇宙の各分野について、内容の濃い情報交換が迅速に行えるのも、わたしたちの学会の
特徴です。



表紙の写真

- 左：MRJ(Mitsubishi Regional Jet) 画像提供：三菱航空機株式会社
- 中：火星衛星探査機「MMX」のイメージ図 画像提供：JAXA
- 右：こうのとり2号機 / H-IIロケット2号機 打ち上げ 写真提供：JAXA



一般社団法人 日本航空宇宙学会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-21 近三ビルディング4階
TEL. 03-6262-5313 FAX. 03-6262-5314

HPよりご入会いただけます。また各種ご質問はHP内の「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。

<http://www.jsass.or.jp/>

jsass

